

おわりに

『福島県教職員特選研究論文集』は、県内の教職員の優れた教育実践を広く普及するために発刊しており、今回が第26集の発刊となりました。

昨年度から論文の「形式」や「提出方法」の変更を行いましたが、今年度は小学校、中学校、特別支援学校から39点の応募がありました。改めて、先生方の教育に対する熱意と意欲に敬意を表しているところです。

本年度の応募の内訳を見ますと、学校全体（団体）が18点、個人が20点、グループが1点となっています。昨年度と比べ、学校全体としての応募が10点から18点になるなど大きな伸びを示しています。

応募いただいた、どの論文も児童生徒や地域の実態、現代的な教育的課題を踏まえての実践的な研究がなされ、児童生徒、さらには学校全体のよりよい変容を目指した、具体的な手立てが随所に見られました。

福島県教育委員会が策定した「頑張る学校応援プラン」では、本県教育の課題として、教員同士が学び合う文化が醸成されていないことを挙げ、この課題解決に向け、「教員の指導力、学校のチーム力の最大化」を教育施策の一つに掲げ取組を進めているところですが、応募いただいた団体・グループ・個人の皆様の真摯かつ意欲的な姿勢は、まさに今、福島県が求めている理想像といえるものです。

この『福島県教職員特選研究論文集』は、県のホームページにも掲載し、研究の成果が広く各学校や教育機関等において活用されるよう広報にも努めて参ります。

最後になりますが、教職員の皆様お一人お一人が、今後も、教育に関わる専門家として、その指導力に磨きをかけていただくことをお願いするとともに、児童生徒の夢や希望の実現に向け、次年度も本研究論文に幅広い領域・校種から、積極的に御応募くださいますようお願い申し上げます。

平成31年度（令和元年度）福島県教職員特選研究論文集

令和2年2月発行
編集・発行 福島県教育委員会

